

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	北九州市立広徳小学校 第4学年児童83名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック、パラリンピックの意義や歴史について知る。 ○ オリンピック種目であるトランポリンを体験することを通して、さらにオリンピックに興味・関心をもつ。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピックパラリンピックに関する話やクイズ、動画視聴を通して、東京オリンピックや過去のオリンピック、パラリンピックについて知る。 ・ トランポリン教室の方に来ていただき、競技トランポリンを体験することで、選手のすごさやスポーツの楽しさを改めて知る。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童は楽しみながら、オリンピック種目を体験でき、より身近に感じる事ができた。 ・ オリンピック、パラリンピックについての話を聞いたりクイズに答えたりすることで、豆知識や歴史を知ることができ、東京オリンピック開催に向けての関心や興味がさらに高まった。 ・ トランポリンという児童の身近にないスポーツを実際に体験し、師範演技を見たりすることができた。師範演技の迫力や技術の高さを目の当たりにし、スポーツ選手へのあこがれの念を抱いた児童も多かった。また、技術を高めていくまでの過程や努力の積み重ねなどにも着目できた児童もいた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> トランポリン教室の前にオリンピック、パラリンピックについての意義について理解させたことで、当日の活動に興味や関心を高め、活動の見通しをもって臨むことができた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> できれば、1クラス1時間の確保をお願いしたい。 (本年度は2コマ、3クラスだったので)
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も機会があれば実施したい。